

ウォーキングの会

世話人 高橋正夫
土橋雄次TEL 309-3407
393-5708

第21回のウォーキングの会は従来の第4土曜日を試行的に変更して平日に行います。
事前の申し込みは不要ですので、当日ご都合のつく方のご参加を歓迎します。

「東大構内散策と旧岩崎邸庭園から上野不忍池へ」

- 1) 日時 9月24日(金) 午前9時
- 2) 集合場所 所沢駅 池袋方面ホーム中ほど
- 3) 行程 池袋乗換え—後楽園駅—小石川後楽園—樋口—葉旧居—東大構内—
旧岩崎邸庭園—湯島天神—不忍池—上野公園—上野駅

参加費無料。但し交通費、入園料、昼食、飲み物各自負担。当日雨天の場合は中止しますが、一応世話人に電話でご確認ください。



第20回ウォーキング記(7月23日)

例年以上の猛暑の中のウォーキングの会となりましたが、今回は日銀本店見学を主にして、そのあと日本橋から水天宮までを歩きました。明治29年に辰野金吾の設計で完成した建物は重厚そのもの、関東大震災にも耐えたということもうなずけました。圧巻は地下金庫で扉の厚さが90センチ、総重量25トンという代物。そのあと隣接する貨幣博物館を見学してから昼食。午後は照りつける太陽に汗を流しつつ、人形町～水天宮と名店にも立ち寄りながら約1時間のウォーキングを行いました。
(高橋記)

参加者：小亀・滝来・高橋・當間各夫妻、青山、小野、月森、
土橋、豊田、中村、福田、松永 (敬称略)

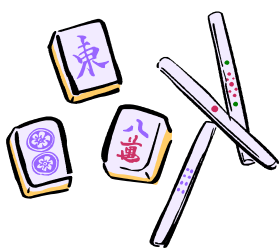
麻雀同好会

世話人 小野 智
松永 常 尚TEL 391-9523
332-5621

第51回大会を下記要領にて開催します。

今回は、先にご案内の如く6月27日開催の予定が、マージャンMの店主のアクシデントにより中止を余儀なくされて6ヶ月ぶり(第50回 3月14日)となります。

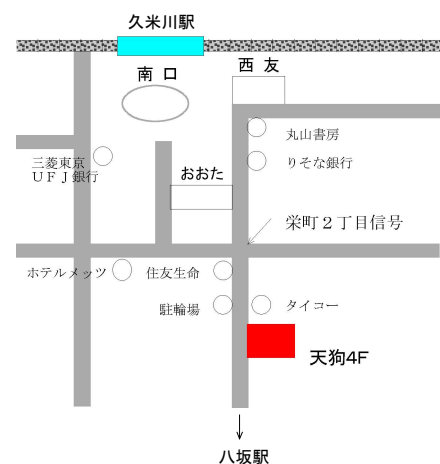
従いまして、開催場所も下記の店となりました。尚、懇親会は丸藤にて行います。奮って皆様のご参加をお待ちします。



記
日時 9月19日(日)
集合 12時10分(時間厳守)
開始 12時30分
場所 天狗 TEL 398-0727
栄町2-28-2 Rビル4F
会費 7,000円
締め切り 9月12日(日)

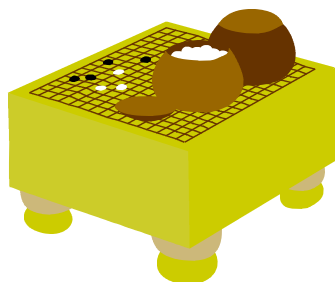
[注]

1. 今回は確保雀卓が4卓故、参加数16名になり次第締め切らざるを得ませんので、悪しからずご了承の上、早めにお申し込みください。
2. 昼食は店のサービスで全員に用意します。
3. 概略地図 久米川駅南口徒歩3分



囲碁同好会

世話人 福田 晃 TEL 394-0593
高 鷲 近 394-2336



●8月の「例会」は、21日(土)、午後1時よりいつもの市民センター別館で開催されました。

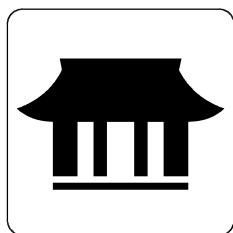
もの凄い暑さにもかかわらず9名のかたが参加され、熱い戦いが展開されました。なかでも初参加の高橋鶴次郎さんは、棋力も高く、今後の活躍が期待されます。久し振り参加の杉山さんの健闘ぶりも光る「例会」でした。

<参加者/敬称略> 福田晃・鈴木・佐久間・江藤・田島・杉山・八木正晴・高橋鶴次郎・高鷲(9名)

○次回<10月16(土)>は、秋季大会を予定しております。年に二回の大会ですので、ぜひご参加くださるようお願いいたします。詳細につきましては、次号の『稲門会ニュース』でお知らせいたします。

郷土史の会

世話人 江藤昌明 TEL 391-4076
伊藤友己 398-1352



郷土史の会の9月の会合は、東村山の郷土史の中心とも言える廻田周辺の史跡の探訪を行いたいと思います。

見学の予定コースは

武蔵大和駅前―宝珠寺―廻田不動尊―廻田緑通―富田家法篋印塔―金山神社―他国神社

です。

今回ご案内は、「廻田の寺院と文化財」を纏め上げられました「峯薬師建設委員会」でもご活躍の江藤さんをお願い致しました。

奮ってご参加頂きますようお願い致します。

記

日時： 9月26日(日) 9:40～12:00

集合場所： 武蔵大和駅バス停留所前 9時40分

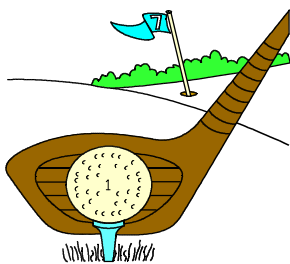
バス：東村山駅西口9時28分発

電車：多摩湖線小平9時25分発が便利です。

解散：正午頃 希望者はその後手打ちうどんを食べたいと思います。

ゴルフ同好会

世話人 井垣 和 太 TEL 04-2924-2934



第28回東村山稲門会秋季ゴルフコンペ開催

第28回秋季ゴルフコンペを下記のように実施いたします。我々がホームコースで多摩丘陵の秋を満喫しましょう。

記

開催日： 平成22年9月24日(金) 7:45～

会 場： 西武園ゴルフ場(所沢市)

プレー費： 15,000円(プレー費、昼食代含む)

参加費： 4,000円(賞品、パーティー代)

知っ得ゴルフ(5) 5番ホール ―6インチプレース―

「キャディさん、ここは6インチ(15センチ)おーけー？」とスタート前に必ず確かめるあなた。あるがままの状態プレーするというゴルフの基本原則をお忘れでは？ 一流コースでは三流プレーヤーと見られますよ。

芝生の保護という名目で、ローカルルールとして認めているコースもありますが、自分のコースの状態が良くありませんと白状しているようなものです。だって最良の場所を探してプレース(リプレースは元の場所に置き直すこと)して、またザックリと削り取られちゃ「負の連鎖」そのものです。

6インチ前へ動かすプレーヤーも見かけますが以ての外。

『その程度のテクニックじゃ、タマを動かしたり、浮かしてみても、気休めに過ぎないのよ お客さん。』

(井垣記)

アメリカ・カナダ東海岸 3,000 ㎞ ドライブ 14 日間の旅・雑感

関 一誠 (S43 教育)

いままで私の外国行きは、スポーツ外交や学会等であった。王政時代のネパール、日中国交回復直後の中国、崩壊直前のモスクワ等歴史の一端を垣間見てきた。

これまで家内と旅行することなど考えもしなかったが、妻は「カナダのプリンスエドワード島」へ行くことが長年の夢であったことから、ニューヨークにいる娘と画策し、ニューヨークからプリンスエドワード島までの往復を車でドライブするという途方も無いことを企てた。それは2年前の北京オリンピック最中のことである。車はというと走行距離26万キロのホンダアコードで、もちろんナビなど無い。おまけに警告灯が点滅しているポンコツ車で、その日の宿を探すのも困難をきたすこと明白な不安いっぱいの旅立ちであった。

まずは、娘のお世話になった大学を訪問した。ニューヨーク州のシュタイナー学校の芸術的建築物に感動したり、オイリュトミー学校で娘の恩師や友人と親しく懇談したりすることができた。二日目にはバーモント州ベニントン大学を見学したり、作曲家である指導教授宅を訪問したりで、たいへんアカデミックな雰囲気でのスタートとなった。

翌日から見知らぬ土地のB&B(民宿)に泊まりながらのドライブである。楽しみは、その土地の安楽レストランを捜して、ワインを飲みながら現地の人との交流や子供たちまで加わって歓待してくれたB&Bならではの朝食であった。部屋は星空の見える天井裏であったり、小さなベッドがかわいらしい子供部屋であったりでこれも楽しみの一つとなった。

ちなみに昼食は通りがかりのスーパーの軒先で飲食するというまったくの貧乏旅行である。慣れない道の地図だけが便りのドライブである。時として娘と妻の激しい言い争いははらはらしながら聞くともあったが、それも心地よい子守唄となって私の睡魔を誘ってくれた。

いよいよ国境である。田舎道を辿って行くと、小さな川の手前に掘っ立て小屋があった。税関である。ここが国境とは思えないなんともどかな風景である。通過するのは私たちの車以外に見当たらない。さぞや厳しい検問があるものと身構えていたが、小屋の中には感じの良い美しい女性一人が居るだけで、車から降りることも無く、親しみのこもった笑顔で送り出されたことが深く印象的だった。小さな橋を渡るとそこはカナダであった。両替をしたいにも銀行ひとつ無い、誰とも出会うことがないまったくの田舎町である。

さらに北上を続け、海面に浮いているだけのよう、ひたすら長いコンフェデレーション橋を渡るとプリンスエドワード島に着いた。4日間かけての目的地到着となった。

私の目的はこの島のコテージで、誰からの連絡も無く、誰にも連絡しない、誰にも邪魔されない4日間を過ごすことにあった。コテージは四方を見渡せる草原に囲まれた丘の上にあり、牧歌的で、音もない世界で、浜風、夕焼け、星空を存分に堪能することができた。車も何故か快調で「赤毛のアン」に出てくるシャーロットタウン、グリーンゲイブルスやプリンスエドワード大学、買い物すべてにわたって気ままに行動できる日々であった。

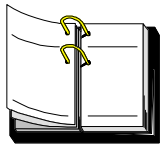
今回の旅は、還暦を過ぎた自分の生き方を見直す絶好の機会となったことはもとより、日常なにげなく一緒に暮らしている妻と10年ぶりの娘との旅が、大げさに言うと、遠い昔の親子の絆を一瞬にして蘇らせてくれた。思えば、人生初めての長期休暇でもあった。

プリンスエドワード島へ渡る
コンフェデレーション橋



コテージから夕焼けの海を望む



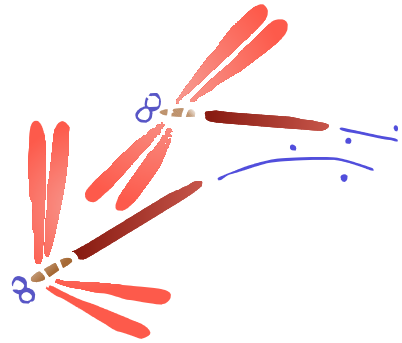


今月の行事（9月）

- 4日（土） 9月度役員会
9・10月度お誕生会
カラオケ同好会
12日（日） 音楽同好会
18日（土） テニス同好会
19日（日） 麻雀同好会
24日（金） ウォーキングの会
ゴルフ同好会
26日（日） 郷土史の会

10月の予定

- 9日（土） 10月度役員会
16日（土） テニス同好会
囲碁同好会



訃報

当会会員奥山康治氏（早大名誉教授）（諏訪町在住・S34文・75才）には8月26日にご逝去なされました。心からご冥福をお祈り申し上げます。なお、稲門会より生花をお供えし、弔電を差し上げました。

編集局だより

○今年は長くて暑い夏でした。東京でも最高気温が35度以上の日もあり、熱帯夜の記録も更新中です。幸いと言おうかまだ38度の気温を体験したことはありませんが、それも時間の問題かもしれません。知恵と技術でヒートアイランド現象に立ち向かわなくては大変なことになりそうです。

○次号の原稿締め切りは9月24日（金）です。よろしく願いいたします。

（中村）

fax: 042-391-0581 email: mym-naka@u01.gate01.com

俳壇

空蟬のつかむ枝先露ひかる 幸田 瑞雄
朝の虹見上ぐる老人おちこちに 菊田 一平
いくつもの蟬の抜け殻蟬の穴 小永井 哲哉
茄子の馬茄子の子馬を従へり 高部 糸行
夕立来る沖のタンカーあたりより 戸田 梟
方丈へ石の濡れ色夏椿 内藤 慎
生垣の日影を拾い歩く処暑 丸本 北窓
碧空へ疲れ知らずの百日紅 八木 竜湖
花檜切られし韓の国思ふ 栗島 三郎
工事場の人影消えて盆休み 井垣 稻雀
夏蝶の後を追いかけ坂の寺 出田 麦穂
信濃路の宿場を埋めし赤とんぼ 風間 和夫
白雲のぼやき合ひたる炎暑かな 山車を曳く子等にやさしき婦警かな
炎昼や百円パーク車泣く
上向きに蛇口しぶくや秋暑し
万燈に顔浮かばせて掌を合わす
銀輪の光目を射る猛暑かな
忘却のできぬひと日や敗戦忌
仰向けのかなぶんに手を貸してやり
冷んやりと古民家の土間蟬時雨
過ちを糺さぬままの原爆忌
マスコミは平和の旗手や敗戦日
来客の数に合わせて西瓜切る
山車を曳く子等にやさしき婦警かな